



ご挨拶

奥出雲町議会 議長
景山 孝志

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、平成二十七年の新春をご家族お描いで健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、井上前町長のご退職があり、勝田町長・松浦副町長がご就任され、新町政が誕生しました。

一方、世界経済は、減速傾向にあり各国・地域は柔軟な財政・金融政策で当面の景気の下振れに対応すると共に、中長期の潜在成長率を高める構造改革が求められています。国内においても、景気は緩やかに回復しているものの個人消費に弱さが残っている状況です。

また、昨年の十大ニュースには、西アフリカ発のエボラ出血熱流行、韓国フェリーの事故、広島市北部土砂災害、御嶽山噴火等の痛ましいニュースが多く連なりました。

そのような中、鳥根県内においては、テニス錦織圭選手にしこりけいの活躍、高円宮典子さま・千家国麿さんのご結婚、石州半紙をはじめとする和紙がユネスコの無形文化遺産に決定など明るいニュースが多く報じられました。

本町では奥出雲たたら製鉄及び棚田が中国地方で初の国の重要文化的景観に、また、バイオマス産業都市への選定、奥出雲町も舞台となる映画「たたら侍」の制作決定、全国スポーツ少年団ホッケー交流大会の開催、阿井分団全国消防操法大会準優勝など町民に自信と希望を与えるニュースが数多く報道された一年でありました。

合併後、十周年を迎える本年、多くの町行政課題を抱える中、関係各位のご尽力により、各種施策が積極的に取り組まれております。

過疎化、高齢化、少子化など本町を取り巻く状況は誠に厳しく、まちづくりは一層厳しくなってくると思われまします。町議会といたしましても町執行部とともに英知を絞って、本年も明るい話題に満ち溢れた一年となり、また、豊かで住みよい町づくりを目指し、町民の皆様のご要望を町の諸施策に反映すべく鋭意努力してまいります。

町民の皆様にとりましても、この一年が実り多い年でありましますように、ご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

平成26年 第3回臨時会

平成26年11月14日

同意

○奥出雲町副町長の選任同意について

・・・全会一致 同意

氏名	松浦士登(まつうらひろのり)
略歴	昭和60年より鳥根県職員として勤務 前商工労働部商工政策課課長代理 49歳
任期	平成30年11月16日までの4年間

平成26年度特別会計補正予算

【国民健康保険事業】

補正額42万円。給与費改定等によるものであり、財源は繰入金。全会一致で原案可決。

【訪問看護ステーション事業】

人事異動による報酬等の減額、職員給与、基金積立金の増額。賛成多数で原案可決。

【簡易水道事業】

補正額88万円。給与費改定によるものであり、財源は雑入、繰入金。全会一致で原案可決。

【奥出雲病院事業】

補正額678万円。給与費改定によるものであり、財源は予備費。全会一致で原案可決。